

緒方竹虎伝記編纂資料目録

当目録の収載の「談話」(資料番号6～69)を半分以上
複写される場合は、著作権者の許諾が必要となります。

2017.11作成

国立国会図書館憲政資料室

緒方竹虎伝記編纂資料目録【凡例】

- ・ 標題、年月日のうち、目録作成者が補った部分には [] を付した。
- ・ これまで「緒方竹虎伝記編纂資料」（「憲政資料室収集書文類書の部1255）として憲政資料室において公開してきた14点の資料を、寄贈資料とともに本目録に統合し、当該資料の請求番号の前に*を付した。
なお旧番号との対照は以下のとおりである。

(旧)「憲政資料室収集文書」番号	(新)本目録番号	(旧)「憲政資料室収集文書」番号	(新)本目録番号
1255-1	83	1255-8	69
1255-2	84	1255-9	141
1255-3	85	1255-10	57
1255-4	86	1255-11	63
1255-5	87	1255-12	102
1255-6	88	1255-13	106
1255-7	55	1255-14	92

緒方竹虎伝記編纂資料目録【目次】

伝記刊行会

〈原稿〉	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
伝記	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
談話	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
執筆記事抜粋	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
他記事抜粋	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
その他	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
〈伝記刊行会事務局〉	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
葬儀・追悼関係	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
執務資料	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
米内光政伝記編纂関係	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
スクラップブック	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
雑誌・新聞	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
〈緒方竹虎執筆記事〉	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
〈緒方竹虎追悼記事〉	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
〈その他〉	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
小冊子・パンフレット	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
朝日新聞開社他	・・・・・・・・・・・・・・・・	18

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
伝記刊行会						
(原稿)						
伝記						
1	緒方竹虎傳 一 (原稿) 高宮太平 第一 青少年篇～第二 新聞篇二 欧米に遊ぶ	高宮用箋	ペン	1綴	(1) [原稿への批評] ハヤベ、17枚(ペン)/ (2) [原稿への批評] 石井、1枚(ペン)	嘉治隆一による追記付箋の添付あり
2	緒方竹虎傳 二 高宮太平 三 大震災を中に挟んで～一二 破局前奏曲(四)	高宮用箋	ペン	1綴		
3	緒方竹虎傳 三 高宮太平 一二(五) 日独伊三国同盟成る～第三 政治篇(上)二(二) 米英華三国共同宣言	高宮用箋	ペン	1綴		
4	緒方竹虎傳 四 高宮太平 第三 二(三) 終戦の詔書～第四 政治篇(下)二(九) 教育二法の成立	高宮用箋	ペン	1綴		
5	緒方竹虎傳 五 高宮太平 第四 三 政治的声明を賭した保守合同～第五 人間篇三 書簡に見る心境	高宮用箋	ペン	1綴		
談話						
6	ラジオ九州放送 横から見た人物伝 緒方さんの巻 第1回～13回 昭和30年8月14日～11月4日 東久邇稔彦 田中耕太郎 水谷八重子 近藤日出造 他	伝記刊行会用箋	ペン	1綴		当資料を半分以上複写の際は著作権者の許諾が必要
7	緒方先生を囲む会の人々 昭和31年3月14日 阿部賢一 小汀利得 島崎新太郎 高田元三郎 高橋雄豹 御手洗辰雄 山浦貫一 美土路昌一 野村秀雄 中野達彦 於 帝国ホテル	原稿用紙	ペン	1綴 (101頁)		当資料を半分以上複写の際は著作権者の許諾が必要
8	朝日新聞時代 昭和31年3月24日 石井光次郎 野村秀雄 嘉治隆一 美土路昌一 長谷部忠 於 朝日新聞重役室	原稿用紙	ペン	1綴 (140頁)		当資料を半分以上複写の際は著作権者の許諾が必要
9	吉田茂氏の談話 昭和31年3月30日 吉田茂 (聞き手) 真藤慎太郎 野村秀雄 於 大磯吉田邸	伝記刊行会用箋	ペン	1綴 (本文88頁)		当資料を半分以上複写の際は著作権者の許諾が必要

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
10	朝日新聞時代 上野精一氏談話 昭和31年4月1日 聞き手 野村秀雄 於 帝国ホテル	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (61頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
11	東久邇稔彦氏の回想 昭和31年4月8日 東久邇稔彦 野村秀雄 嘉治隆一 於 東久邇邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文84頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
12	報道関係者座談会 昭和31年4月11日 小木曾達夫 山室英男 中原功 園田剛民 宮崎吉政 聞き手 野村秀雄 他	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文170頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
13	政治家時代裏話 昭和31年4月13日 津雲国利 篠田弘作 高橋円三郎 真藤慎太郎 菅家喜六 田中伊三次 長谷部忠 於 交詢社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文166頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
14	文化人関係談話集 昭和31年4月14日～7月5日 早稲田大学総長大浜信泉氏の談話 (聞き手)高宮太平 昭和31年4月14日 於 早稲田大学総長室 最高裁長官田中耕太郎氏の談話 (聞き手)野村秀雄 嘉治隆一 昭和31年6月21日 於 長官応接室 柳田国男氏の談話 (聞き手)野村氏 堀場氏 昭和31年6月28日 於 自宅 小泉信三氏の談話 (聞き手)野村氏 嘉治氏 昭和31年7月3日 於 自宅 和田三造氏の談話 (聞き手)野村秀雄 昭和31年7月5日 於 色彩研究所	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (131頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
15	董頭光氏の談話 昭和31年4月21日 中国大使董頭光 (聞き手)野村秀雄 於 中国大使館	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (32頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
16	林譲治氏の談話 昭和31年4月24日 林譲治 野村秀雄 於 清水	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (71枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
17	堤康次郎氏の談話 昭和31年4月25日 堤康次郎 野村秀雄 於 堤氏邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (56枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
18	趣味の話 昭和31年5月1日 亀清楼 松の茶屋その他 (司会)真藤慎太郎 於 浜町森田	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (71頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
19	戸塚、馬場、灘尾氏の談話 昭和31年5月2日 戸塚九一郎 灘尾弘吉 嘉治隆一 馬場元治 野村秀雄 中野達彦 於 交詢社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (82枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
20	松野鶴平氏の談話 昭和31年5月3日 (聞き手)野村秀雄 於 松野氏邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文89頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
21	政治家の観た緒方竹虎先生 昭和31年5月8日 岡崎勝男 愛知揆一 小坂善太郎 周東英雄 橋本龍伍 野村秀雄 於 交詢社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (113枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
22	朝日新聞時代の緒方先生 昭和31年5月9日 香月保 古川登久茂 長谷部忠 高橋円三郎 野村秀雄 高宮太平 於 本会事務所	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (112頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
23	二十一日会の事 昭和31年5月9日 伊藤正徳 岡崎鴻吉 美土路昌一 野村秀雄 於 交詢社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (100頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
24	関西財界人の観た緒方先生 昭和31年5月11日 岡橋林 杉道助 飯島幡司 白石幸三郎 北澤敬三郎 益田豊彦 原吉平 平山亮太郎 関桂三 於 日本綿業倶楽部	原稿用紙	ペン	1綴 (本文95頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
25	近親者、学友、戦局関係者の思ひ出話 昭和31年5月12日 永江眞郷 木曾重義 上野浪男 横大路一 奥村茂敏 水野咲子 紫藤タカ 緒方大象夫人 於 福岡 菊水旅館	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (137頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
26	修猷館時代を語る 昭和31年5月14日 合屋友五郎 井上孝太郎 柴田徳雄 中里長 中山弘道 星野政雄 江浦重成 秋津鉄人 牟田眞 大塚覚 金生喜造 上野恒夫 於 福岡	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (106頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
27	同盟通信結成当時の話 昭和31年5月15日 古野伊之助 下村宏 嘉治隆一 田中都吉 高石眞五郎 野村秀雄 於 同友倶楽部	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (95頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
28	東久邇内閣閣僚座談会 昭和31年5月15日 於 グランドホテル	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文115頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
29	大宰府での追憶談話 昭和31年5月18日 河内卯兵衛 森田久 西高辻信貞 進藤一馬 江崎イシ 奥村茂敏 於 大宰府お石茶屋	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (96頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
30	芳澤謙吉氏の談話 昭和31年5月18日 (聞き手)野村秀雄 於 芳澤邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (60頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
31	吉田内閣末期の話 昭和(31)年5月22日 小澤佐重喜 加藤鏝五郎 小笠原三九郎 野村秀雄 於 交詢社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文57頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
32	小磯内閣情報局総裁時代(情報局第一部長の談話) 昭和31年5月23日 談 塚田一甫	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (14頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
33	大徳寺住職大亀師の談話 昭和31年5月27日 於 紫野大徳寺	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (56頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
34	剣道の話 昭和31年5月31日 磯野七平 藤原茂 山田敏樹 奥村茂敏 於 福岡勝立寺	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (127頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
35	郷土関係者の談話集 昭和31年5月 緒方家の人々 阿部暢太郎 附属小学校の友 毛屋東二郎 福岡市長の談話 小西春雄 中野良 水茶屋談話 吉次 麻蔵 奴 福子 担当 奥村茂敏 於 福岡	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文119頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
36	内閣調査室と情報機関の話 昭和31年6月7日 村井行蔵 木村順 野村秀雄 於 人事院ビル	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文98頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
37	大野伴睦氏の談話 昭和31年6月8日 (聞き手) 野村秀雄 於 大野邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (56枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
38	出光佐三氏、藤山愛一郎氏の談話 昭和31年6月16日 (聞き手) 野村秀雄	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文68頁、 本文26頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
39	三浦一雄氏の談話 昭和31年6月19日 (聞き手) 堀場正夫 於 第二議員会館	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (62頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
40	岸信介氏の談話 昭和31年6月21日 (聞き手) 野村秀雄 於 グランドホテル	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文57頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
41	財界関係談話集 昭和31年7月6日他 小坂順造 高木陸郎 堀田庄三 佐藤喜一郎 向井忠晴 加藤武男 (聞き手) 高宮太平 野村秀雄 真藤慎太郎	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
42	高瀬青山氏の談話 昭和31年7月14日、21日 高瀬青山 野村秀雄 中野達彦 於 丸ビル高瀬事務所	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文133 頁、本文79 頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
43	塚田十一郎氏の談話 昭和31年7月16日 (聞き手)堀場正夫 於 党本部	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (18枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
44	芦田均氏の談話 保守新党発案者としての緒方君 昭和31年7月16日 (聞き手)野村秀雄 於 芦田邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (22枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
45	山崎巖氏 村瀬直養氏の談話 昭和31年7月17日、昭和31年7月27日 山崎巖 野村秀雄 於 新日本クラブ 村瀬直養 堀場正夫 於 商工中央金庫理事長室	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (70頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
46	論説委員座談会 昭和31年7月20日 前田多門 笠新太郎 園田次郎 野村秀雄 土岐善磨 長谷部忠 白石昆 嘉治隆一 於 宝家 □	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (186頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
47	松永安左衛門氏の談話 昭和31年7月22日 (聞き手)真藤慎太郎 堀場正夫 於 小田原松永邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文42頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
48	安藤狂四郎氏の談話 昭和31年7月24日 (聞き手)野村秀雄 真藤慎太郎 堀場正夫 於 交詢社第一号室	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (29頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
49	東京高商同窓会談話 昭和31年7月25日 佐藤富三 犬丸徹三 金井滋道 武井大助 内田敬三 大竹栄 加藤藤太郎 久我貞三郎 土屋計左右 平沢千万人 楊井勇三 篠崎盛一 米澤 於 帝国ホテル	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (123頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
50	元記者座談会 昭和31年7月26日 有竹修二 長谷部忠 他9名 (司会)野村秀雄 (刊行会) 堀場正夫 於 朝日新聞談話室	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (135頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
51	秘書官座談会 昭和31年7月28日 中村正吾 長谷川峻 城戸 中野達彦 今泉 (刊行会)野村 嘉治 堀場 於 交詢社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文137頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
52	湯河原座談会 昭和31年7月29日 町野[武馬] 真藤慎太郎 山浦貫一 猪熊 堀場 他 於 湯河原町野邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (78頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
53	益谷秀次氏の談話 昭和31年7月30日 (聞き手)野村秀雄 於 弁慶橋清水	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (24枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
54	風見章氏の談話 昭和31年8月6日 風見章 齋藤茂一郎 野村秀雄 於 交詢社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (79頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
*55	末永節氏の談話 昭和31年8月23日 (聞き手) 藤本尚則 堀場正夫	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (82頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
56	砂田重政氏の談話 昭和31年8月28日 (聞き手)野村秀雄 於 砂田邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (25枚)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
*57	丹波秀伯氏の談話 昭和31年8月 於 丹波事務所	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
58	緒方家座談会 昭和31年9月4日 緒方未亡人 三浦夫人 長男 二男 三男 園田氏 園田夫人 (刊行会側)野村氏 長谷部氏 嘉治氏 高宮氏 於 緒方邸	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (238頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
59	緒方先生の新聞観 昭和31年9月8日 笠信太郎 千葉雄二郎 長谷部忠 野村秀雄 於 朝日新聞社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (78頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
60	政策問題座談会 昭和31年9月15日 江口見登留 菅野義丸 佐藤達夫 三橋則雄 (刊行会側)野村 堀場 於 警視総監室	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文71頁)	緒方副総理の思ひで 元内閣官房副長官菅野 義丸 昭和31年6月16日 受、30頁	当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
61	大東亜圏視察旅行 自昭和18年6月8日至同年7月31日 昭和31年9月15日 益田豊彦 於 刊行会	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (37頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
62	米内光政氏関係者の談話 昭和31年9月19日 麻生孝雄 八角三郎 吉井道教 (聞き手)堀場正夫 於 交詢社	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (87頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
*63	[蔣君輝氏の談話] 昭和31年9月28日 (聞き手)高宮太平 堀場正夫	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (69頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
64	馬術の話 昭和31年10月3日 遊佐幸平 武田恒徳 野村秀雄 田畑政治 於 日本体育館	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (42頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
65	書道の話 昭和 31年10月9日 波多野乾一 中山優 清水董三 宮田武義 於 山水楼 附 川村驥山氏談 11月5日 於 玉鳳寺	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (69頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
66	小倉正恒氏の談話 昭和(31)年12月18日 (聞き手)堀場正夫 於 吉祥寺自宅	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (9頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
67	謡曲の話 昭和32年2月1日 喜多実 土岐善麿 笠信太郎	朝日新聞 社用紙	鉛筆	1綴 (43頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
68	緒方さんと私天裏の品格と高邁な精神 伊豆富人	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (32頁)		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
*69	洛陽の牡丹 昭和28年7月25日掲載 洛陽の牡丹緒方使節から蔣総統へ 今は亡き「いわしや」 主人の友情	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		当資料を半分以上複写の際は 著作権者の許諾が必要
執筆記事抜粋						
70	東京特信 (写) 莫哀楼 大正4年12月14日～5年1月14日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴	緒方宛書簡 関山ス ポーツホテル 2月19 日、1通 □	
71	東京特信 2 (写) 莫哀楼 大正5年1月17日～ 3月3日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
72	東京特信 他 3 (写) 莫哀楼 大正5年3月9日～6月14日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
73	[執筆記事] 4 (写) 莫哀楼 大正5年6月22日～ 10月30日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
74	[執筆記事] 5 (写) 莫哀楼 大正5年11月6日～6年5月25日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
75	[執筆記事] 6 (写) 莫哀楼 大正6年6月3日～7年7月11日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
76	財政経済時報 1 (写) 莫哀楼主人 大正6年1月1日～12月1日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
77	財政経済時報 2 (写) 莫哀楼主人 大正6年3月1日～9年2月1日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
78	ロンドン通信(『朝日新聞』掲載) 大正10年4月1日～18日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
79	朝日新聞時代 寄稿資料之部	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
80	週刊朝日 原稿 昭和26年8月～30年2月	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
81	五反田通信 昭和27年6月5日～29年8月15日 東南アジアに望む わたくしはかく思う 緒方氏を囲んで 他	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
82	緒方竹虎先生遺稿集 詩他	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
他記事抜粋						
*83	大政翼賛会、翼賛選挙、翼賛政治会、大日本政治会、大日本翼賛壮年 団、推薦選挙反対論 「政治学事典」の抜粋等	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
*84	東久邇内閣資料 声明 訓示 施政方針 新聞記事抜書	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
*85	第四次第五次吉田内閣政策行政事項	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (78頁)		
*86	副総理時代 声明 談話資料 新聞記事抜粋	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
*87	自由党総裁時代 政見 資料 新聞記事等抜書	伝記刊行 会用箋	ペン	1冊		
*88	保守合同後の論評資料 二大政党の対立 『朝日新聞』 昭和30年11月24日～28日 新党は約束する 『毎日新聞』 昭和30年11月16日～18日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
その他						
89	東南アジア視察関係資料 昭和27年5月6日～6月10日	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴 (本文51頁、 元原稿50頁)		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
90	[日記(写)] 昭和27年5月27日～6月19日	伝記編纂 会用箋・ 高宮用箋	ペン・鉛 筆	7枚	電文(写)古島一雄死去 関連昭和27年5月27日 ～28日	
91	雪斎会 緒方竹虎先生追悼会の記録 昭和31年4月27日 於 陶々亭	伝記刊行 会用箋	ペン	1綴		
〈伝記刊行会事務局〉						
*92	発信書類控 緒方竹虎伝記刊行会 昭和31年 趣意書・依頼状・礼状・借用証 等		ペン・タ イプ・謄 写	1綴		
葬儀・追悼関係						
93	葬儀日程 昭和31年1月29日～2月1日		謄写	同文3枚		
94	[葬儀参列依頼通知] 朝日新聞社東京文書部長 昭和31年1月30日	朝日新聞 社罫紙	ペン・タ イプ	2枚	(1)招待者芳名簿 東京本社 昭和30年9月9日、1綴/(2)高橋円三郎宛書簡(封筒共)朝日新聞東京本社秘書課、2枚	
95	故緒方代行委員党葬事務分担 昭和31年2月1日		謄写	同文4枚		
96	弔電等(海外、在日大使館、外務省等) 昭和(31)年		タイプ他	一括		
97	弔電等(中華民国、香港等) 昭和(31)年		ペン・タ イプ・墨 書他	一括		
98	弔電 昭和31年2月11日 於 福岡葬儀		タイプ	一括		
99	[外電] 昭和31年 AP、TAS 緒方死去関係		タイプ	11枚		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
100	案内状 [故緒方竹虎伝記編纂] 石井光次郎、村山長挙 他 昭和(31)年2月17日		謄写	1枚		
101	追慕録(緒方竹虎追悼会) 昭和31年3月1日 於 日本工業倶楽部		墨書・タイプ	1冊	(1)名刺、2枚/(2)来賓名メモ、4枚	
*102	[緒方の思い出] Frederick Smith 1956年6月17日		英文タイプ	1枚		
執務資料						
103	編輯会議録 1 / 単語帳 昭和(15)年8月14日～9月24日	ノート	ペン・鉛筆	1冊		
104-1	軍人恩給(1)	総理府恩給局用箋	鉛筆	1綴		
104-2	軍人恩給(2) 第15、16国会における緒方副総理の恩給法関係発言	日本国政府用箋・総理府恩給局用箋	鉛筆	1綴		
105	自由党同志会(仮称)名簿 昭和30年3月10日		謄写	1綴(12枚)		
米内光政伝記編纂関係						
*106	寄稿集 [米内光政伝記関係] 回想記 米内手記(写) 等		活版	1綴		
スクラップブック						
107	[スクラップブック] 昭和20年8月18日～10月6日 東久邇内閣関連記事		活版	1冊		
108	SCRAP BOOK 昭和27年10月13日～28年1月7日		活版	1冊		
109	SCRAP BOOK 昭和27年10月29日～11月30日 第4次吉田内閣成立前夜		活版	1冊		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
110	SCRAP BOOK 昭和27年11月24日～28年4月22日		活版	1冊		
111	SCRAP BOOK 昭和28年1月21日～5月7日 『Nippon times』 記事		活版	1冊		
112	SCRAP BOOK 昭和28年4月20日～8月13日 総選挙、第16国会関連記事		活版	1冊		
113	SCRAP BOOK 昭和28年8月13日～10月19日		活版	1冊	(1)『熊本毎日新聞』 昭和28年8月20日、1部/ (2)封筒入り切抜き、2枚	
114	SCRAP BOOK 昭和28年10月19日～12月25日		活版	1冊		
115	SCRAP BOOK 昭和29年1月5日～3月22日		活版	1冊		
116	SCRAP BOOK 昭和29年3月20日～4月21日		活版	1冊		
117	SCRAP BOOK 昭和29年4月25日～7月7日		活版	1冊	『信濃毎日新聞』昭和 29年7月18日、1部	
118	SCRAP BOOK 昭和29年8月～10月 「米内光政—緒方副総理に聴く」 『岩手日報』6066号～6071号 他		活版	1冊	写真 緒方竹虎、1枚	
119	SCRAP BOOK No. 1 昭和29年9月4日～10月5日		活版	1冊		
120	SCRAP BOOK No. 2 昭和29年11月2日～26日		活版	1冊		
121	SCRAP BOOK No. 3 昭和29年11月26日～12月5日		活版	1冊		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
122	SCRAP BOOK No. 4 昭和30年3月13日～4月5日 第2次鳩山内閣関連記事		活版	1冊		
123	SCRAP BOOK No. 5 昭和30年4月5日～20日		活版	1冊		
124	SCRAP BOOK No. 6 昭和30年4月22日～5月14日		活版	1冊		
125	SCRAP BOOK No. 7 昭和30年5月14日～26日		活版	1冊		
126	SCRAP BOOK No. 8 昭和30年5月26日～6月10日		活版	1冊		
127	SCRAP BOOK 9 昭初30年6月10日～25日		活版	1冊		
128	SCRAP BOOK No. 10 昭和30年6月26日～7月10日		活版	1冊		
129	SCRAP BOOK No. 11 昭和30年7月11日～8月6日		活版	1冊		
130	SCRAP BOOK No. 12 昭和30年7月26日～9月4日		活版	1冊		
131	SCRAP BOOK 13 昭和30年9月4日～10月26日		活版	1冊		
132	SCRAP BOOK 13 昭和30年10月5日～11月1日		活版	1冊		
133	SCRAP BOOK 14 昭和30年10月30日～11月14日 自民党結成関係		活版	1冊		
134	SCRAP BOOK 15 昭和30年10月26日～11月17日 保守合同前夜		活版	1冊		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
135	SCRAP BOOK 昭和30年11月～12月 保守合同関連記事		活版	1冊		
136	SCRAP BOOK(訃報1) 昭和31年1月29日～2月7日 緒方死去関連記事		活版	1冊	『九州日報』 追悼特集号 昭和31年2月24日、1部	
137	SCRAP BOOK(訃報2) 昭和31年1月29日～2月25日 緒方竹虎死去関連記事		活版	1冊		
138	[スクラップブック] (訃報3) 1956年1月29日～2月2日 (英字紙) 緒方竹虎死去関連記事		活版	1冊		
139	SCRAP BOOK (外国為替相場) 昭和31年9月～32年3月		活版	1冊	「ポンド為替の直光相場制度に就いて」青焼、2枚	
140	徳川無声連載対談 問答無用(第三十二回) 緒方竹虎 『週刊朝日』1951年10月21日号(抜刷)		活版	1綴 (5頁)		
*141	吉田茂回顧録 『週刊新潮』 第1回～第25回		活版	1綴		
142	SCRAP BOOK 10月8日、9日 (英字紙)Nehru 関連記事		活版	1冊		
143	[スクラップブック] (英字紙)Remarkable Articles from Nippon Times		活版	1綴		
144	SCRAP BOOK 写真(幾岡太郎一先生 他)			1冊		
雑誌・新聞						
〈緒方竹虎執筆記事〉						
145	内外調査会講演シリーズ 1 昭和30年6月17日 自由党総裁緒方竹虎「保守結集と政局の動向」		活版	1冊 (31頁)		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
146	『皇道発揚』 再刊 第112号 皇道社出版部 昭和31年2月11日 緒方竹虎「祝福の辞」		活版	1冊 (24頁)		
〈緒方竹虎追悼記事〉						
147	『中国一周』 第303期 中国新聞出版公司 中華民国45年2月13日 東亜喪失一政治家		活版	1冊 (32頁)		
148	『朝日社報』 第452号 朝日新聞社 昭和31年2月25日 緒方竹虎追悼関係記事		活版	1冊 (18頁)		
149	『全貌』 第5巻第3号 全貌社 昭和31年3月15日 高宮太平「人間・緒方竹虎の一生」		活版	1冊 (66頁)		
150	『南海公論』 第6巻3月号 南海公論社 昭和31年3月15日 川口清健「緒方竹虎氏との約束」		活版	1冊 (22頁)		
151	『経済時代』 第21巻第3号 経済時代社 昭和31年3月1日 大野伴睦「緒方竹虎君を憶う」 渡辺幾治郎「緒方竹虎氏を惜む」		活版	1冊 (138頁)		
152	『中心』 No. 232 中心社 昭和31年3月1日 丸岡輝次「緒方先生の思い出」		活版	1冊 (64頁)		
153	『新日本経済』 第20巻第3号 新日本経済社 昭和31年3月1日 苗劍秋「『緒方精神』と日本」		活版	1冊 (78頁)		
154	『政界往来』 第22巻第3号 政界往来社 昭和31年3月 岩淵辰雄・御手洗辰雄・木舎幾三郎「緒方の急死と政局鼎談」座談会		活版	1冊 (208頁)		
155	『互尊』 第49号 日本互尊社 昭和33年9月 反町栄一「悠久叢話(五)」 緒方竹虎先生		活版	1冊 (25頁)		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
156	新聞記事 昭和31年 緒方死去関係		活版	一括		
〈その他〉						
157	『アジア問題』 通巻6号 アジア問題調査会 昭和28年7月 〈提言〉アジアの繁栄と幸福のために		活版	1冊 (54頁)		
158	『大隈研究』 第4輯 早稲田大学大隈研究室編 昭和29年3月		活版	1冊 (168頁)		
159	『大隈研究』 第6輯 早稲田大学大隈研究室編 昭和30年3月		活版	1冊 (142頁)		
160	『近代日本文化』 第3巻第12号 洋々社 昭和30年7月30日		活版	1冊 (16頁)		
161	『内外情勢調査会報』 第6号 昭和32年10月1日 第1回全国年次大会		活版	1冊 (8頁)		
小冊子・パンフレット						
162	From Peace to Stability Thakin Nu 1951年 Translation of Selected speeches by the Honble Thakin Nu, Minister of the Union of Burma, delivered on Various occasions from 15th Aug. 1949 to 20th Apr. 1951		活版	1冊 (218頁)		
163	ソ連の軍事力 連合情報社 時局研究会 昭和26年2月5日 『時局研究特別資料』 第一集		謄写	1冊 (88頁)		
164	大隈文書目録 早稲田大学大隈研究室編 早稲田大学図書館刊 昭和27年10月 『早稲田大学図書館和漢書分類目録』 特刊之一		活版	1冊 (295頁)		
165	昭和二十七年十月一日執行衆議院議員総選挙 最裁判所裁判官国民審査選挙結果 福岡県選挙管理委員会		謄写	1冊 (183頁)		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
166	防衛機構のあり方に関する論争点 若干 大井篤 昭和30年10月26日		謄写	1冊 (34頁)		
167	会員名簿 附 趣意書・定款及会員規定・支部規定・事業計画抜粋・ 事業の遠隔 社団法人内外情勢調査会 昭和32年9月1日現在		活版	1冊	会員名簿 追補 昭和 32年11月1日現在、1冊	
168	劇団新舞台錦秋特別公演 昭和35年10月 緒方洪庵生誕百五十年記念上演 おらんだ書生 4幕		活版	1冊		
朝日新聞社他						
169	東京朝日新聞社史(草稿) 卷八 明治33、34年		タイプ	1冊 (194枚)		
170	東京朝日新聞社史(草稿) 卷九 明治35年		タイプ	1冊 (113枚)		
171	東京朝日新聞社史 卷十 明治三十六年 朝日新聞社社史編修室 昭和25年4月 社内用		謄写	1冊 (314頁)		
172	東京朝日新聞社史 卷十一 明治三十七年 朝日新聞社社史編修室 昭和25年9月 社内用		謄写	1冊 (316頁)		
173	朝日新聞西部本社社史 卷一 その草創時代・前期 朝日新聞社社史編修 室 昭和26年5月 社内用		謄写	1冊 (82頁)		
174	東京朝日新聞編年史 第二卷 自明治二十四年至明治二十六年 昭和16年7月稿		タイプ	1冊 (387頁)		
175	東京朝日新聞編年史 卷十六(上) 明治三十七年 朝日新聞社社史編 修室 昭和25年4月 社内用		謄写	1冊 (180頁)		
176	東京朝日新聞編年史 卷十六(下) 明治三十七年 朝日新聞社社史編修 室 昭和25年6月 社内用		謄写	1冊 (178頁)		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
177	東京朝日新聞編年史 卷十八 明治三十九年 朝日新聞社社史編修室 昭和26年8月 社内用		謄写	1冊 (329頁)	明治三十九年編年史正誤表、1部	
178	東京朝日新聞編年史 卷十九 明治四十年 朝日新聞東京本社文書課 昭和27年5月		謄写	1冊 (312頁)		
179	東京朝日新聞編年史 卷二十二 明治四十三年 朝日新聞東京本社文書部 昭和30年6月 社内用		活版	1冊 (300頁)	東京朝日新聞編年史(明治43年)正誤表、1部	
180	東京朝日新聞編年史 卷二十三 明治四十四年 朝日新聞東京本社文書部 昭和31年3月 社内用		活版	1冊 (301頁)	明治44年編年史正誤表、1部	
181	炭鉱災害の研究 永井幸雄 昭和24年10月10日 『朝日新聞調査研究室報告』 社内用10		謄写	1冊 (186頁)		
182	新聞に関する英国王立委員会報告 朝日新聞調査研究室訳 昭和24年11月10日 『朝日新聞調査研究室報告』 社内用12		謄写	1冊 (558頁)		
183	中華人民共和国の成立 中国人民政治協商会議第一期全体会議記録 一 一九四九年九月二十一日～十月一日 於北京 宮崎世龍 昭和24年12月25日 『朝日新聞調査研究室報告』 社内用15		謄写	1冊 (322頁)		
184	中華人民共和国中央人民政府第一年度の財政経済工作 下巻 一九四九年一〇月～一九五〇年九月 宮崎世龍 昭和26年11月1日 『朝日新聞調査研究室報告』 社内用30		謄写	1冊 (332頁)		
185	米国における治安立法と言論の自由 近藤貢 昭和27年7月21日 『朝日新聞調査研究室報告』 社内用38		謄写	1冊 (172頁)		

緒方竹虎伝記編纂資料目録

資料番号	タイトル	用紙	記述法	数量	付属資料	備考
186	中華人民共和国中央人民政府第二年度の財政経済工作 上巻 一九五〇年一〇月～一九五一年九月 宮崎世龍編 昭和28年1月26日 『朝日新聞調査研究室報告』 社内用41		謄写	1冊 (401頁)		
187	国会新聞社史 上巻 昭和16年12月稿		タイプ	1冊 (85枚)		
188	「東京公論」 社史 昭和16年12月稿		タイプ	1冊 (77枚)		